

なったらいいな！自分もみんなもハッピーなせかい

学校名	愛知県小牧市立篠岡小学校		授業者氏名	石川 敬祐
対象学年 (人数)	小学校2年生 (22名)		実践年月 (時数)	2023年 10月～1月 (9時間)
担当教科等	全科			
単元名 (活動名)	学級活動「日常の生活や学習への適応及び健康安全ー希望や目標をもって生きる態度の形成」 道徳「日本のお米、せかいのお米」			
実践する 教科・領域	学級活動・道徳			
学習領域	A 多文化社会 … 文化理解 (○) / 文化交流 () / 多文化共生 (○) B グローバル社会 … 相互依存 () / 情報化 () C 地球的課題 … 人権 (○) / 環境 () / 平和 () / 開発 () D 未来への選択 … 歴史認識 () / 市民意識 () / 社会参加 ()			
単元目標	・ 自分自身の生活との比較を通して、ネパールの現状を知る。 ・ 日本とネパールの共通点や相違点に気付く。 ・ わたし、あなた、みんなにとっての幸せを考え、行動する。			
単元の 評価規準	知識および技能	・ ネパールの文化や食などについて、説明できるか。		
	思考力、判断力、 表現力等	・ 日本とネパールの共通点や相違点を多面的に考えることができたか。		
	学びに向かう力、 人間性等	・ 「幸せ」という価値観を多角的に捉え、自分自身の生き方に生かそうとしているか。		
単元設定の 理由・意義 (児童生徒観、 指導観、教材 観から)	本学級は、男子 15 名、女子6名(加えて1名は特別支援学級より交流)が在籍している。様々なことに好奇心旺盛な児童が多いが、食べ物や教科等の好き嫌いが激しい。そこで、自分たちの生活とネパールという国の実情を比較することを通じて、自分たちの生活が当たり前ではないことに気づき、「幸せ」という価値観の変容を促したいと抱き、本単元を設定した。 本実践を行うにあたり、対象者が低学年児童だったので、ネパールの実情や課題などを自分事として捉えるのは容易ではないことが想定された。そこで、指導をする上で心がけたことは、ネパールの生活や文化、食などを学んだ際にも児童自身の生活に結びつけて理解させたり、共通点や相違点を考えさせたりした。 また、授業者が教師海外研修(in ネパール)で学んだことを一方的に教えるのではなく、ブレーンストーミングや対比表など、参加型手法を適宜取り入れ、児童が主体的となって仲間と対話し、思考を深めていくことを目指した。 さらには、発達段階を考慮し、遊びから学ぶことも重要であると考えた。そして、カリキュラムの集大成には、「ハッピーライフゲーム」と称し、それまで学んだことを生かして、わたし(自分)、あなた(家族や友だちなど)、みんな(日本のみんな、ネパールの人々など)にとっての幸せとは何か考えるすごろくを作成した。児童は完成したすごろくで遊ぶことを通じて、仲間が考える「幸せ」に触れ、自分自身の「幸せ」という価値観の変容を促されることを期待した。			

〔単元計画（全9時間）〕

時	ねらい	学習活動	資料など
1	普段何気なく過ごしている日常生活を見つめ直すことを通じて、自分の生活がいくつもの事象や人とのつながりの上で成り立っていることに気付く。	「 <u>自分はどんな生活をしている？</u> 」 ① 自分の一日の生活(平日)をふり返る。【タイムライン】 ② 仲間と比較し、共通点や相違点に気付く。 ③ ふり返り	・ ロイロノートの活用(ICT機器の活用) ・ OPP シート(ふり返り用)
2	様々な観点から自分を見つめ直すことを通じて、自己理解を深める。また、新たな自分を発見する。	「 <u>自分や友だちのことをあらためて知ろう！</u> 」 ① 自分の好きなこと、嫌いなこと/得意なこと、苦手なこと/大切な人、モノを見つめる。【ブレーンストーミング】 ② 仲間と比較し、共通点や相違点に気付く。【ギャラリー方式】 ③ ふり返り	・ A4用紙 ・ OPP シート(ふり返り用)
3・4	ネパールという国に興味関心を抱くとともに、世界には自分たちと全く異なる環境で生活している人がいることに気付く。	「 <u>ネパールってどんな国？</u> 」 ① ネパールについて知る。(都市部と農村部の様子、学校や子どもたち、食、石川が実際に感じたネパールにおけるハッピーなど)【フォトランゲージ】【クイズ】【動画】【ジグソー法】 ② ネパールの文化を体験する。(楽器演奏) ③ ネパールはどんな国か整理する。【派生図】 ④ ふり返り	・ ネパールBOX ・ 教師海外研修(inネパール)で撮影した写真や動画 ・ OPP シート(ふり返り用)
5	日本(自分たちの生活)とネパールの共通点や相違点に気付く。	「 <u>自分たち(日本)とネパールの同じところ、ちがうところは？</u> 」 ① ネパールに住むある男の子、女の子の生活を知る。【ジグソー法】 ② 日本とネパールの同じところと違うところを考える。【対比表】 ③ ふり返り	・ World Vision (https://www.worldvision.jp/children/)の資料に加筆・修正 ・ OPP シート(ふり返り用)
6 本時	これまで学んだことを生かし、わたし・あなた・みんなの立場に立って、「幸せ」とは何かを考える。	「 <u>わたし・あなた・みんなにとってのハッピーとは？</u> 」 ① わたし(自分)、あなた(家族や友だちなど)、みんな(日本のみんな、ネパールのみんななど)にとっての幸せとは何かを考える。【ブレーンストーミング】【対比表】 ② ふり返り	・ ロイロノート(ICT機器)の活用 ・ A3用紙 ・ OPP シート(ふり返り用)
7・8	前時で考えた「幸せ」を基に、遊ぶ人がハッピーになれるすごろくを作成する。	「 <u>ハッピーライフゲーム(すごろく)を作ろう！</u> 」 ① こんな世界になったらいいという理想も含め、ハッピーライフゲームをグループ毎に作成する。【すごろくゲーム】 ② ふり返り	・ A3用紙 ・ OPP シート(ふり返り用)
9	幸せに生きていくことを目指して、これからの自分は何をしていくべきかを考え、行動する。	「 <u>ハッピーライフのために自分にできることは？</u> 」 ① 他グループが作成したハッピーライフゲームで遊び、みんなでハッピーをシェアする。【すごろくゲーム】 ② 全体をふり返り、自分の夢や目標を掲げ、実現を目指す。【行動宣言】 ③ ふり返り	・ A3用紙 ・ A4用紙 ・ OPP シート(ふり返り用)

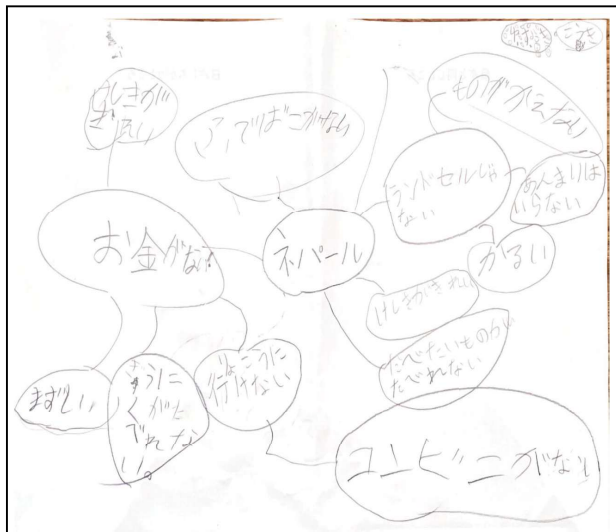
[本時の展開（6時間目）]

ねらい	・ これまで学んだことを生かし、わたし・あなた・みんなの立場に立って、「幸せ」とは何かを考える。		
過程・時	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点(支援)	資料
導入 3分	1 自分の身近にある「幸せ」を知る。 <u>アイスブレイク「最近感じた私の幸せ」</u> 「この1週間で、幸せだなと思ったことは何ですか？ペアで聴き合ひましょう。」 ・ ペアで1分程聴き合ひ、その後全体で共有することを通じて、仲間の様々な幸せを知る。	・ 「幸せ」という価値観を深めていく導入として、児童が最近感じた全ての幸せを認める。 ・ 自分が感じた幸せを話すことよりも、他の児童が感じた幸せを聴くことを重視させる。	・ 教師海外研修(in ネパール)で撮影した写真や動画
展開 10分	2 わたし(自分)にとっての「幸せ」とは何かに気付く。 <u>わたしの幸せって？</u> 【ブレーンストーミング】 「自分にとって、幸せだなと感じるときやことは何ですか？思いっただけ書き出してみてください。」 ・ 自分にとっての幸せを考え、ロイロノート(タブレット)のテキストカードに書き出す。	・ 1と同じもしくは考え悩む児童がいることが想定されるので、前時までに活用した資料(ロイロノート内のデータ)を参考にしてもよいことを伝える。	
27分	3 わたし(自分)、あなた(家族や友だちなど)、みんな(日本のみんな、ネパールのみんななど)にとっての幸せの共通点や相違点に気付く。 <u>わたし・あなた・みんなの幸せの共通点と相違点</u> 【ブレーンストーミング】【対比表】 「家族や友だちといったあなたが幸せになるために大切なものやことは何ですか？」 「日本のみんなやネパールのみんなが幸せになるために大切なものやことは何ですか？」 ・ 2で考えたことも含めて、わたし・あなた・みんなの立場に立って「幸せ」をペアで考え、比較する。 ・ ロイロノート(タブレット)を活用し、完成した対比表を全体で共有する。	・ 小学校低学年児童にとって他者の立場に立って考えることは容易ではないので、状況に応じて、授業者が例を2, 3個挙げる。 ・ 文で表現することが難しい場合は、単語や短い言葉でもよいと伝える。 ・ 対比表を写真で撮り、ロイロノートを活用して共有することを通じて、他のペアの考えに気付かせる。	
まとめ 5分	4 本時で学んだことをふり返り、次時へつなげる。 <u>ふり返り</u> 「今日学んだことを「あ(明らかになったこと)・か(考えたこと)・し(知りたいこと)」のポイントでふり返ってください。」 ・ OPP シート(1枚ポートフォリオ)にふり返りを書く。	・ 「あ・か・し」といったふり返りの視点を提示する。 ・ 前時や次時における学びのつながりを意識させる。	
評価規準に基づく 本時の評価		「幸せ」という価値観を多角的に捉え、自分自身の生き方に生かそうとしているか。 【学びに向かう力、人間性等】に対して 児童は、日常生活の中で特に意識していない自分自身の幸せを見つめ直したことで、小さな幸せに気付いたり、今の生活が当たり前ではないという思いを馳せたりすることができた。ふり返りには、「生き物の幸せも守っていききたい。もっと生き物を大事にしたい。」と記述する児童もいた。 一方で、他者の幸せ、特に、自分と関わりのないみんな(本時では、日本のみんなやネパールのみんなという表現)の幸せは、漠然とし過ぎたこともあって、考えることが難しいと感じた児童が多かった。	

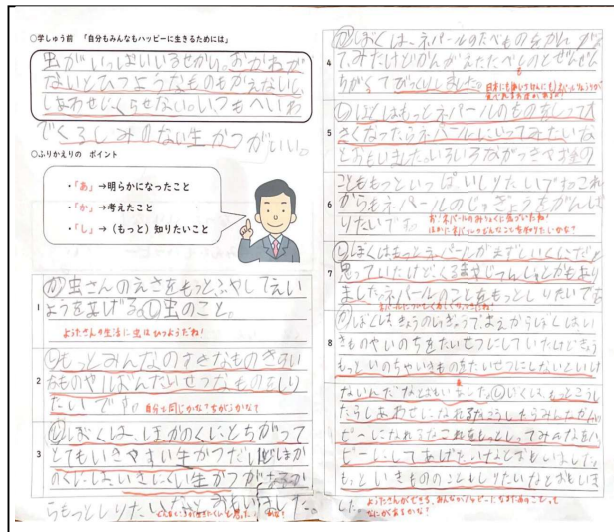
〔総括・まとめ〕

学習方法および外部との連携	・ ネパールについて知ってもらうために、授業者の説明は最小限にし、ICT 機器(ロイロノート)を活用して資料(写真や動画など)を共有し、児童自らの気付きや発見を促した。 ・ アウトプットの時間を多く設けるために、参加型手法(タイムライン、ブレーンストーミング、派生図、対比表、行動宣言)を適宜取り入れた。 ・ カリキュラムの集大成に、学びの可視化(すごろく作り)を行った。
学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み	・ 全校児童対象に、ネパール BOX を活用して、ネパールの写真・モノの展示や楽器演奏体験(主に、2・3年生)を行い、ネパールという国について興味をもっていただいた。 ・ 小牧市青年部員対象(約 160 人)に、「SDGs と教育」をテーマとした平和学習会を企画、運営した。またその中で、講話「ネパールの教育と貧困」を行い、SDGs 達成の鍵となる教育に携わる私たちに何ができるのかを先生方に考えていただいた。
苦労した点	・ 小学校低学年の児童に対して、世界(ネパール)の課題を自分事として捉えさせること。また、自分以外の立場に立って、幸せについて考えさせること。 ・ 「ゲームがたくさんできる」「お金持ちになる」といった自分の欲が満たされる幸せだけではなく、幸せについて多面的に考えさせること。 ・ 既存カリキュラムとのつながりが弱いので、連続した時間数を確保すること。
改善点	・ 第3時の「石川が実際に感じたネパールにおけるハッピー」や第5時の「ネパールに住むある男の子、女の子の生活」といった、児童がネパールをリアルに感じることができる教材や資料、仕掛けを準備すること。 ・ 学級の仲間だけではなく、上の学年や保護者など、様々な立場の人の幸せについて知る機会を設けること。 ・ 既存カリキュラムとのつながりを軸に、カリキュラムをデザインすること。
成果が出た点	・ 児童は、ネパールをはじめ、日本以外の国に興味関心を抱くようになったこと。 ・ 児童が、ネパールという国を通じて、食べたいものが食べられることや暖かい家で暮らせることなど、自分たちの生活が当たり前ではないということに気付くことができたこと。 ・ 児童が、人それぞれ幸せの価値観が異なることに気付けたこと。
学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	・ 「ぼくは、ネパールのこととかを学んで水が出たり、食べものがあるのは当たり前じゃないということを考えました。どうしたらみんながもっとハッピーになるかをもっと知りたいです。いま自分にできることやこうしたらあんぜんになるかなとかももっと知ったり考えたりしたいです。人によってハッピーなことがちがうことも知りました。」 ・ (自分もみんなもハッピーに生きるために)「せんそうがなくなった。電気と水とガスがとおった。ふつうの時計がある。教科書がある。ノートがある。スクリーンがある。」 (上記、2名の児童の OPP シート記述より一部引用。)
授業者による自由記述	・ 昨今話題の SDGs を達成する鍵は、教育(ESD: 持続可能な開発のための教育)であり、持続可能な社会を担う子どもを育む使命が私たち教育者にはある。その方法の一つが、国際理解教育・開発教育である。今年度、教師海外研修に参加させていただき、たくさんの学びや現地に足を運ばなければ得られない刺激があった。しかし、身近な人・こと・ものからも国際理解教育・開発教育の実践はできる。今後も様々な人・こと・ものから学び続け、子どもの成長を喜べる教育者でありたい。
単元構想・実施における参考資料等	・ World Vision の HP (https://www.worldvision.jp/children/) (最終閲覧日 2023 年 10 月 14 日) ・ 久世治靖ら『よりよい未来をとともに学び・ともに創るファシリテーターのための参加型アクティビティ集 コミュニケーション編—他者に関わる力を育もう—』NPO 法人 NIED・国際理解教育センター, 2018. ・ NPO 法人 NIED・国際理解教育センター『JICA 中部 教師海外研修ガイドブック』独立行政法人国際協力機構 中部センター, 2021.

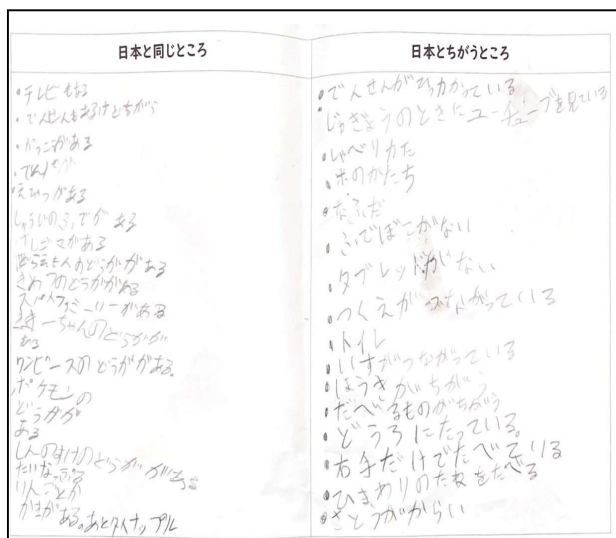
【学びの軌跡（児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）】



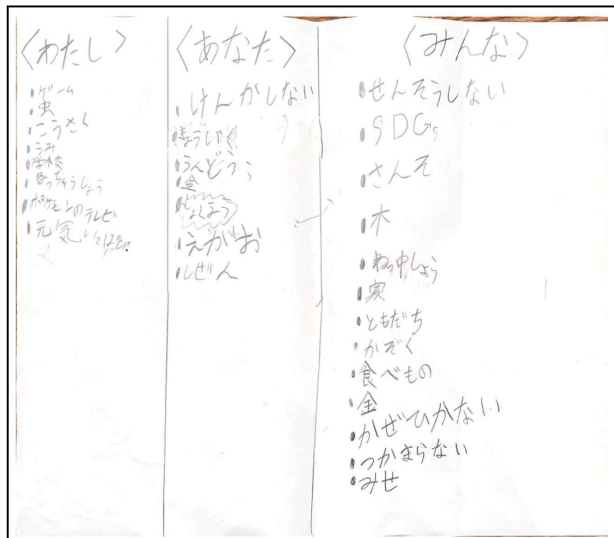
▲ 派生図「ネパールってどんな国？」



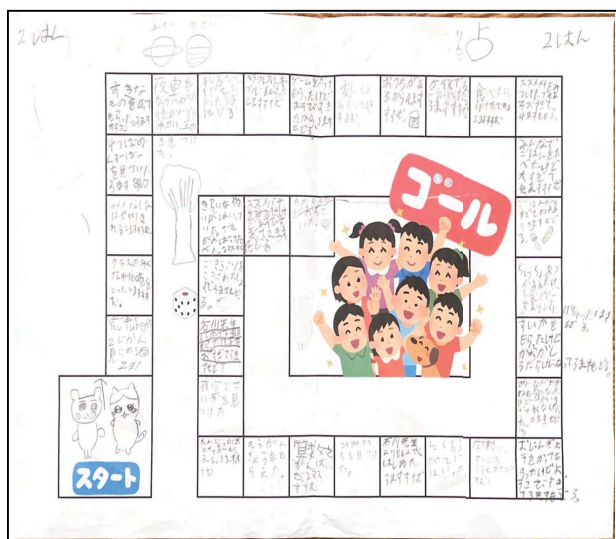
▲ 児童 A の OPP シート



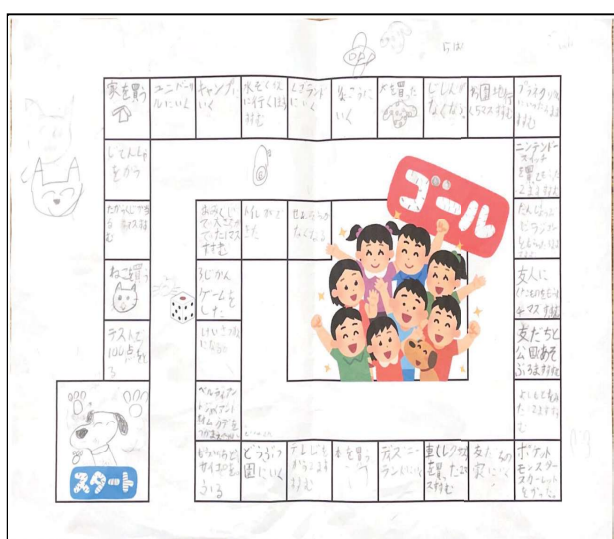
▲ 対比表「日本とネパールの共通点・相違点」



▲ 対比表「わたし・あなた・みんなの幸せ」



▲ 2グループのハッピーライフゲーム



▲ 5グループのハッピーライフゲーム